

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)  
 A:十分達成できている  
 B:おおむね達成できている  
 C:やや不十分である  
 D:不十分である

学校名	唐津市立平原小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の学年差、個人差が大きい。個に応じた指導の充実と学習意欲の喚起、主体的に取り組む児童の育成に取り組んでいく。</li> <li>・規則正しい生活、ゲームやスマホ等の使い方、学用品や宿題忘れ等の基本的な習慣が身に付いていない児童や家庭は限られている。家庭への言葉掛けを引き続き行い、改善を図る。</li> <li>・ほとんどの児童が、車での送迎で登下校をしており、安全を確保しながら歩いて登下校する時期を設定するよう、保護者と話し合い、実践していきたい。</li> </ul>
------------------	---

2 学校教育目標	自ら学び、心豊かにたくましく生き抜く平原っ子の育成
----------	---------------------------

3 本年度の重点目標	1 確かな学力～自ら学ぶ意欲を育てる 2 豊かな心～心が通じ合い、思いやりのある集団を育てる 3 健やかな体～活力ある人を育てる
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●前年度の課題を踏まえた全職員による共通理解と共通実践、学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○学習に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・目的のある読書の時間を設定する。 ・国語科の「話す・聞く」領域での単元計画と実施、行事と関連した言語活動に取り組む。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権や道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上。 ○言葉遣いに関するアンケートにより、肯定的な回答をした児童80%以上。	・道徳の授業の「親切・思いやり」や「公正・公平・社会正義」「生命の尊さ」などの内容項目を通して互いを尊重しあえる児童の育成を図る。 ・なかよし集会を通して、言葉遣いや人との関わりのスキル向上を図る。							道徳教育推進教師
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止について組織的な対応ができていると回答した職員80%以上。	・毎月末、児童に「月の心」のアンケートを実施し、個別の聞き取りの時間をとる。 ・生活指導協議会を開き、職員間で情報共有や指導の共通理解を図る。							生活部 人権同和教育担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●◎「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・帰りの会や掲示物などでいいところを紹介したり、教師の積極的な言葉掛けにより、友達や教師から認められていると感じる場面をつくるとともにその能力を伸ばす。 ・学校行事や縦割り班活動の際に司会や交流の場を積極的に設け、発表の機会を設定し、活躍の場をつくる。 ・「キャリア教育」により、自分がなりたい、興味のある職業を調べ、将来への展望をもたせる。							各担任 特活部
●健康・体づくり	「望ましい生活習慣の形成」	●給食後に歯みがきをしていると回答した児童80%以上	・巡回時や給食後に、歯みがきへの言葉掛けを行う。 ・歯と口の健康づくりに関する掲示物を作成、保健だよりの発行を通じて歯みがきへの意識向上を図る。 ・給食時間を活用し、食育や生活習慣などの指導をすることで健康意識を高める。							保体部
	「運動習慣の改善や定着化」	●休み時間や昼休みなどに進んで運動をしているかのアンケートに対して、肯定的な回答をしている児童80%以上	・学級レクの時間設定の推進と場の開放を行う。昼休みなどの外遊びを推奨する。							保体部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・時間外勤務月平均15時間以内の実現に向け、業務改善を進めるとともに時間の使い方の意識づけを行う。 ・長期休業中に年次休暇が取得しやすいように、研修等の精選を図る。							管理職
●特別支援教育の充実	○職員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関して、職員が「理解している」と回答する割合80%以上	・月1回の児童の生活情報交換において児童の様子について情報共有の時間を設け、職員全体で支援にあたる。 ・随時「支援会議」を開催し、児童の様子等を共有する。 ・特別支援教育に関する校内研修会を夏季休業中に開催する。							特別支援担当

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○挨拶の徹底	○挨拶の習慣化	○挨拶に関するアンケートで児童が「意識してできている」と回答する割合80%	・年間の生活目標に「正しい言葉づかいをしよう」掲げる。 ・特に1学期はあいさつに関する目標を各学年で話し合い、取り組む。			

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--